

経済動向調査

2019年1月～3月

景気・消費・需要等動向に
関する情報の収集・整理

2019年7月

佐久穂町商工会

I 景気情報等の収集整理

・中小企業景況調査報告書

(全国:2019年1月～3月)

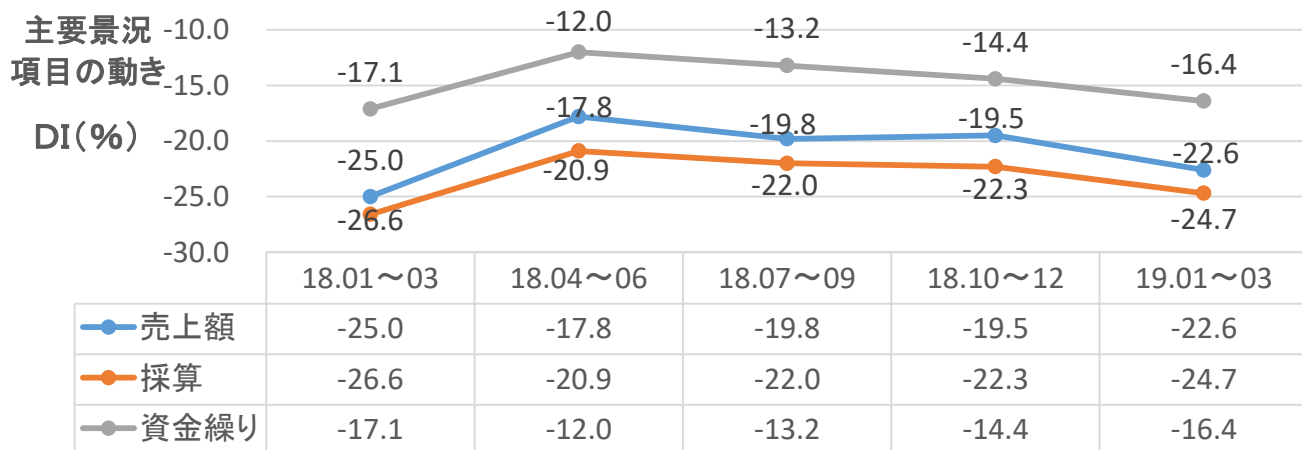
・小規模企業景気動向調査

(近隣都道府県経営指導員のコメント: 2019年1月～3月)

※DI(景気動向指数)は、各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

〈産業全体〉

製造業・小売業で後退、中小企業景気に陰り



経営指導員のコメント

・全般的には、金融需要も少なく、景況感も変わらない印象であるが、どの業種もの変動も本来この時節に振るべき雪が少ない暖冬傾向で売上を落としている。
(新潟県小国町商工会)

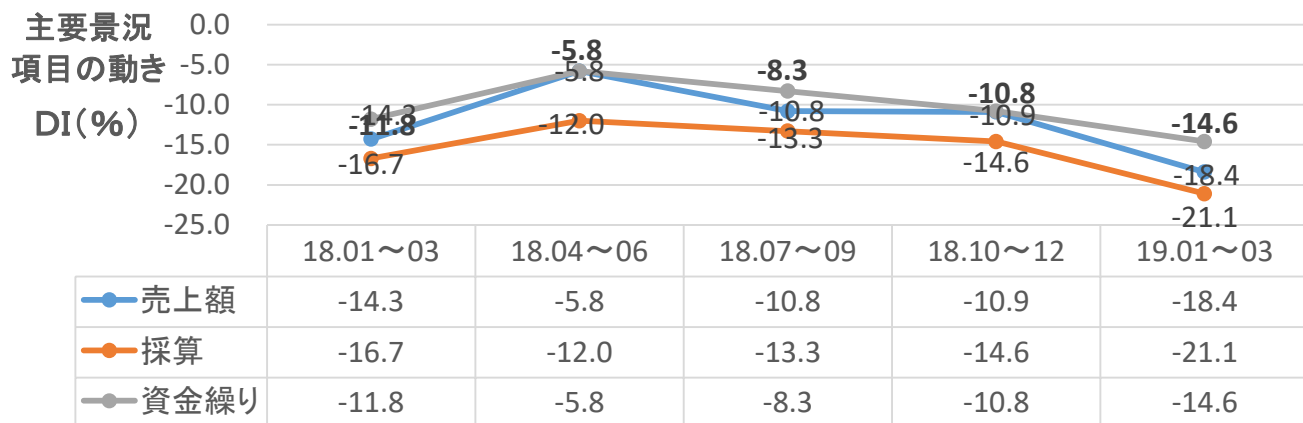
・積雪量が少なく、スキー客の入込が激減しており、スキー場に関連する企業の収益が減少している。金融機関の貸出については、何ら問題はない。
(岐阜県高山西商工会)

・地域独特の農繁期以降の消費が伸び悩み消費の冷え込みが激しい状況にある。要因の一部としては、地域特産品であるおけさ柿の出荷量が、干ばつや台風接近など厳しい気象条件が重なり、1990年意向で最小の結果となったと新聞報道されたことが裏付けとなっている。
(新潟県波茂商工会)

・地域経済は緩やかに回復。生産面は全体としては堅調に推移。需要面は個人消費が底堅く推移。設備投資も回復傾向を維持。
(山梨県甲州市商工会)

〈製造業〉

輸出関連業種で大幅悪化

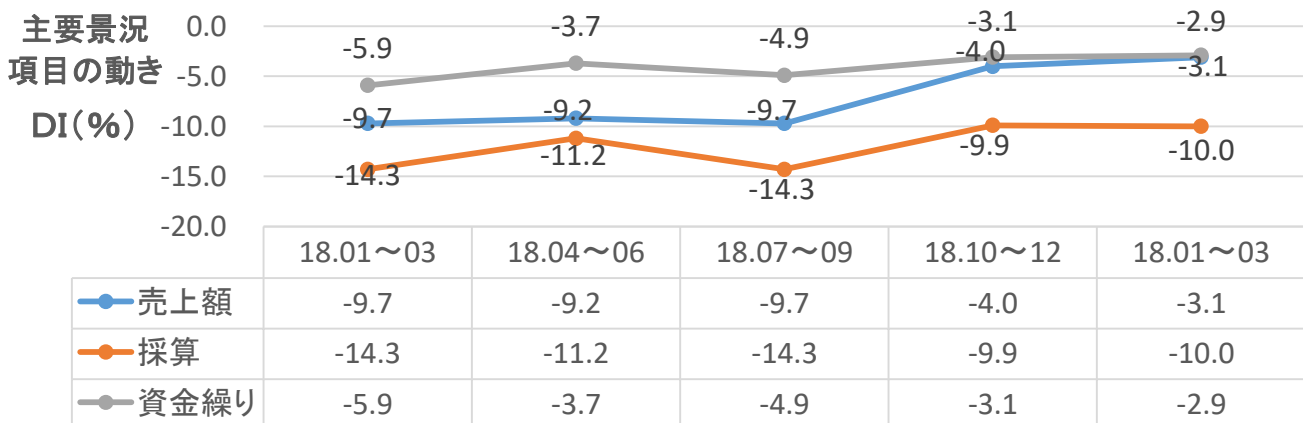


経営指導員のコメント

- ・今後の働き方改革によっては、残業させられないことも検討しておく必要があるとの懸念を示す企業もある。
(群馬県笠懸町商工会)
- ・木工関連の製造業は、オリンピックの影響でホテルからの受注が地元の大手木工企業に引き続きあるため、下請けの仕事も継続しており収益が上がっている。
(岐阜県高山西商工会)
- ・食品については天候などの影響もあるが、今月は仕入れは全体的に下がっており何とか採算はとれているとのこと。繊維については、海外への輸出が多いため、国際関係などにより中東へ輸出が減少しているとのこと。製造業者も減少しており、その仕事の一部企業へ集中しているようである。
機械・金属は、昨年たまたま仕事が多かったため、今年は減少しているが、ならせば平年並みとのこと。特殊な仕事のため受注はあるとのこと。
(静岡県浜北商工会)

〈建設業〉

人手不足は深刻ながら改善傾向を維持

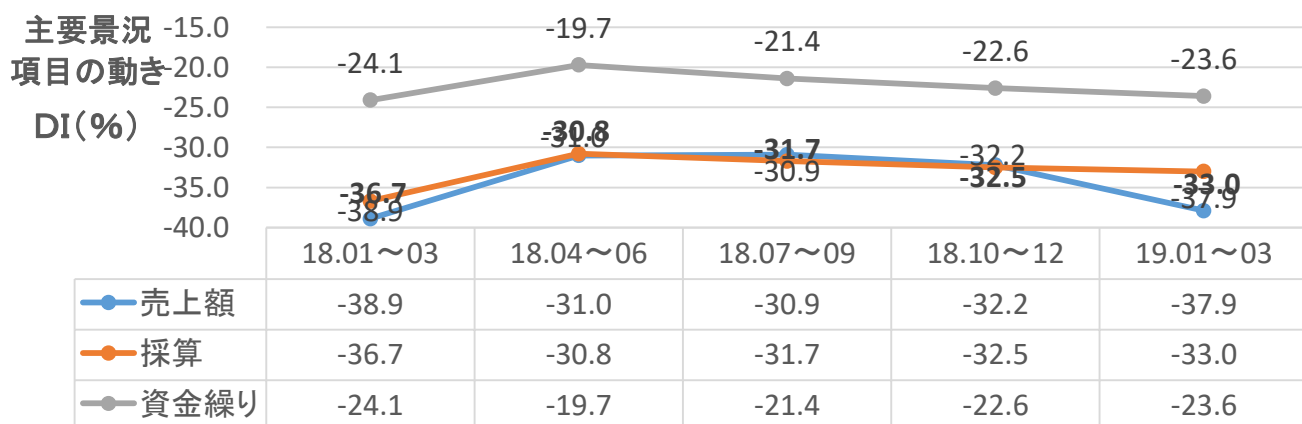


経営指導員のコメント

- ・土木請負業関連の建設業は、災害復旧の公共工事の発注が多いため、小規模事業者も仕事が確保できている。
(岐阜県高山西商工会)
- ・市内では人口が減少している一方で世帯数は増加している。若い世帯が独立し、新居を設ける際に、自分たちでも建てられる安価な程度の家を建てるパターンがほとんどで、「安価」「デザイン性の高さ」を売りにするメーカーに受注の偏りが見られる。一方でメーカーの料金体系に疑問をもつ顧客も増え始めており、今後これまでの1社集中状態が緩和される気配も感じている。
(岐阜県古川町商工会)

〈小売業〉

広範な地域・業種で後退し、低迷が続く



経営指導員のコメント

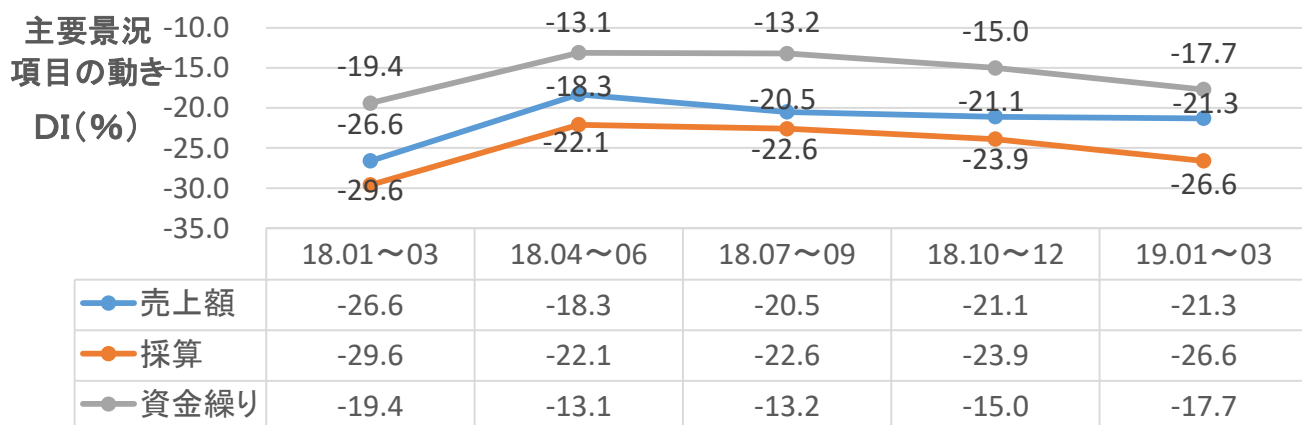
・衣料品関連の小売業は、暖冬小雪の影響で、冬物商品が低調であった。食品関連の小売業は、正月商品が暖冬のお陰で隣接大型店に流出傾向にあり伸び悩んだ。
(新潟県小国町商工会)

・寒いとはいえ例年の凍みがなく冬物衣料や生活用品の動きが鈍くなっている。また、靴屋じょせつきぐなどの冬用品の動きが鈍く、想定した売上には至っていないところもある。
(岐阜県古川町商工会)

・小売りでは、食材仕入れ値自体の上昇、運送費用の上昇、人手不足などを受けて、食品全体が高値で推移している模様。
(静岡県富士市商工会)

〈サービス業〉

宿泊業、洗濯・理美容業を中心に低水準



経営指導員のコメント

・スキー場関連の宿泊業は、修学旅行がバス代高騰や選択肢の多様化のため減少傾向にある。更に一般客もスキー離れで減少している。インバウンドは増加傾向であるがトータルでは減少傾向である。また、従業員確保も深刻な課題である。
(長野県山ノ内町商工会)

・観光関連のサービス業は、天候に恵まれ、比較的暖かかったため人手もほどほどにあった。
(愛知県豊浜商工会)

・クリーニング業では石油製品(ボイラー燃料、洗剤等)の値上がりりが経営の負担になっている。サービス業でも事業主の高齢化による廃業が生じている。
(静岡県富士市商工会)

Ⅱ 行政の統計情報・民間の景況情報の収集整理

1. 人口動態

	人口			世帯数		
	2018.12.31 現在	2019.3.31 現在	増減	2018.12.31 現在	2019.3.31 現在	増減
佐久穂町	11,164	11,076	▲88	4,333	4,330	▲3
小海町	4,651	4,676	25	1,955	2,012	57
佐久市臼田	13,309	13,197	▲112	5,651	5,637	▲14
佐久市全体	99,219	98,867	▲352	41,551	41,611	60

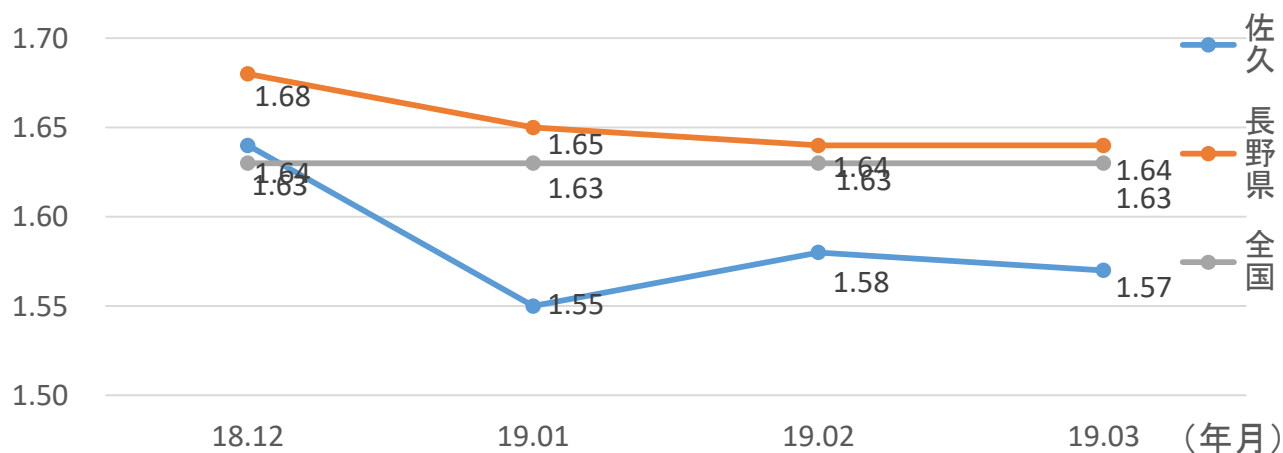
2. 雇用情勢

※(佐久)はハローワーク佐久と小諸出張所の合算値

①有効求人倍率(佐久・長野県・全国)

(倍)

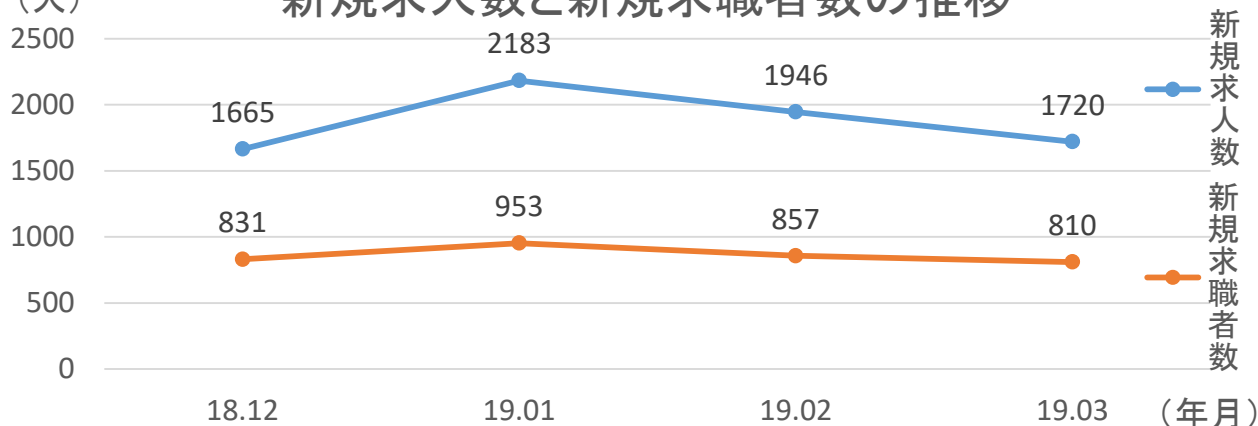
有効求人倍率の推移



②新規求人数と新規求職者数(佐久)

(人)

新規求人数と新規求職者数の推移



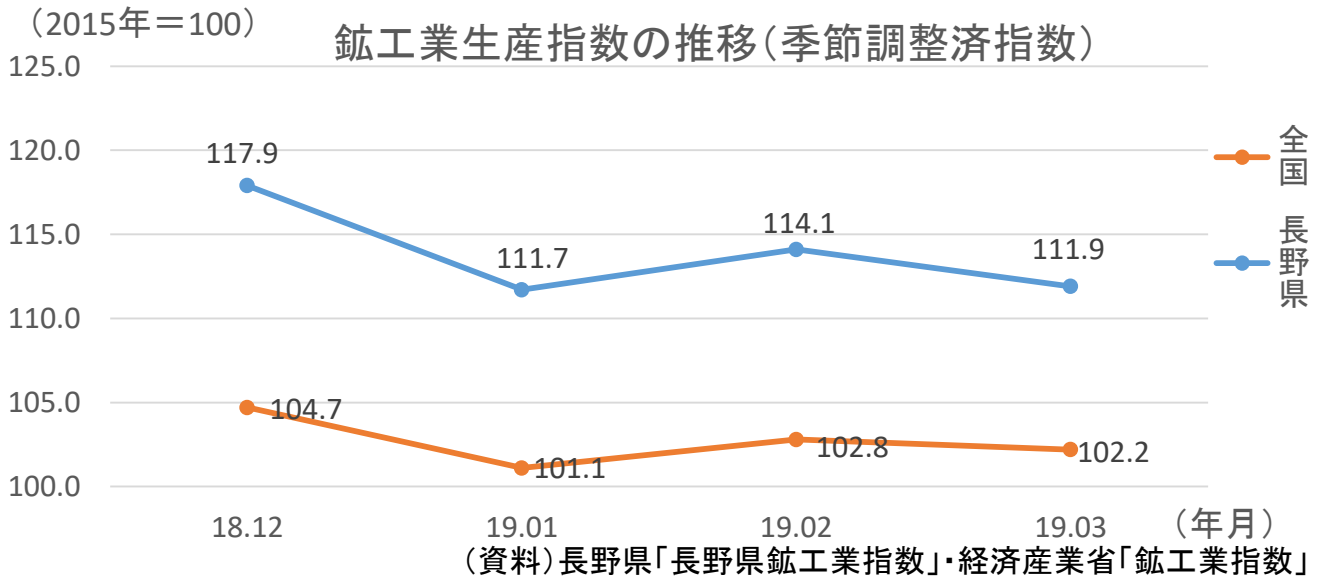
(資料)ハローワーク佐久「業務月報」

3. 生産動向

県内の生産は、6カ月連続ゆるやかな上昇

鉱工業生産指数

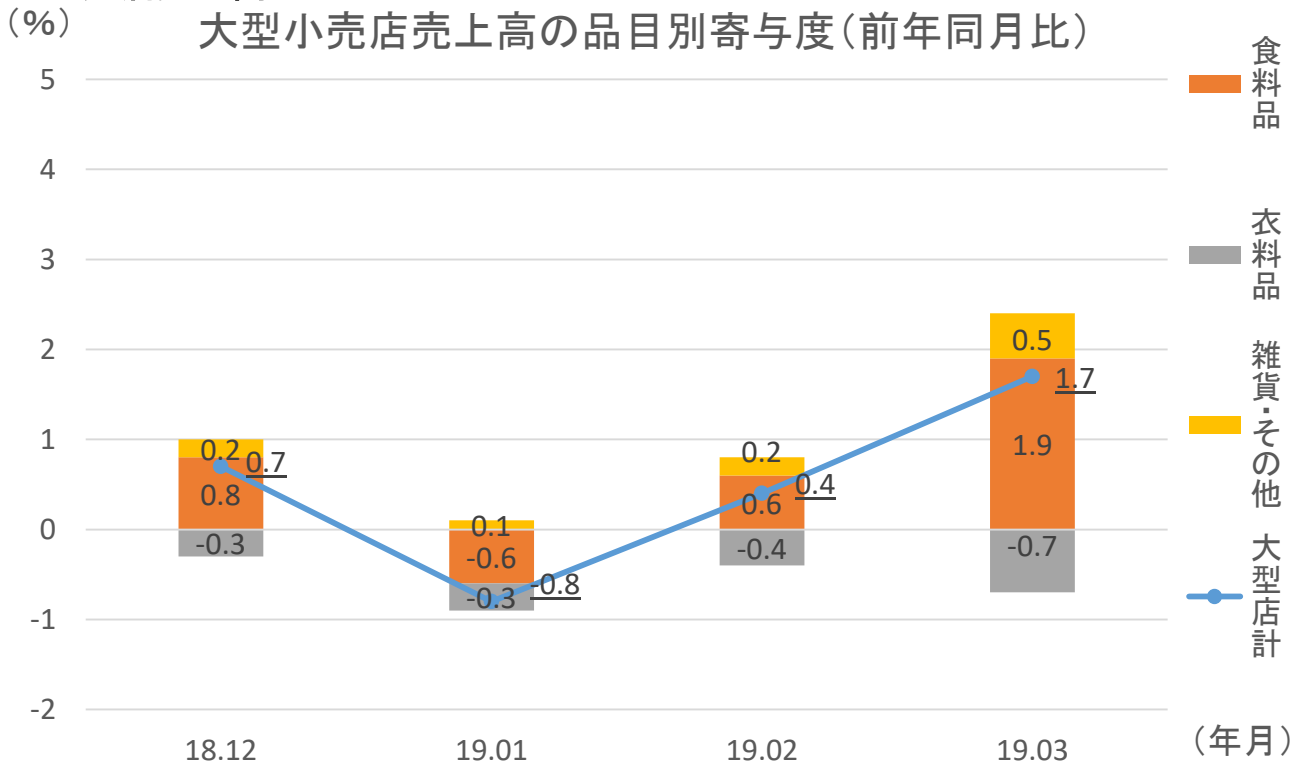
※鉱工業生産活動の全体的な水準の推移を示します。



4. 個人消費

総菜や飲料などが好調。大型小売店売上高は、2カ月連続前年上回る

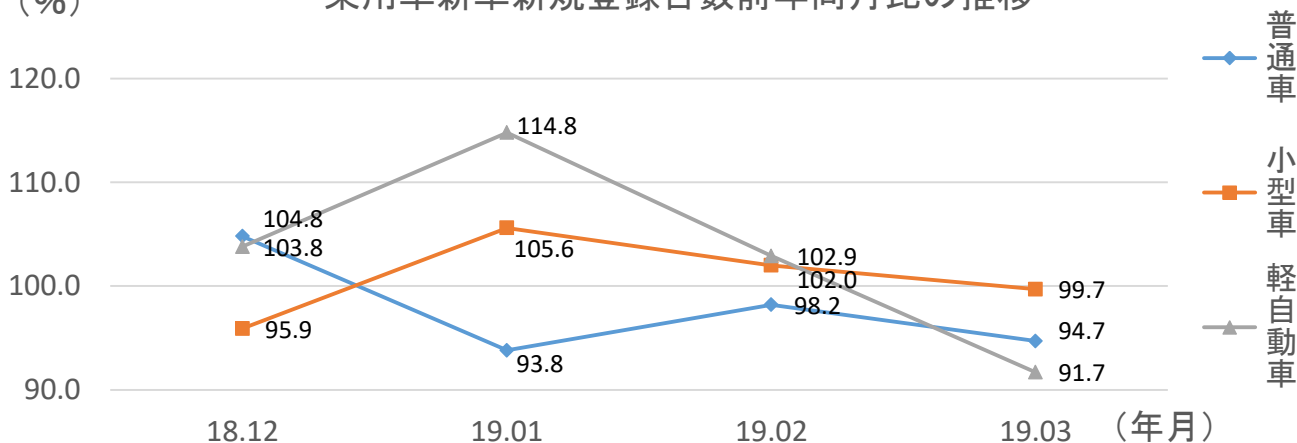
大型小売店売上高



新規登録車両全体(四輪)で、2カ月連続で減少

新車登録台数

乗用車新車新規登録台数前年同月比の推移



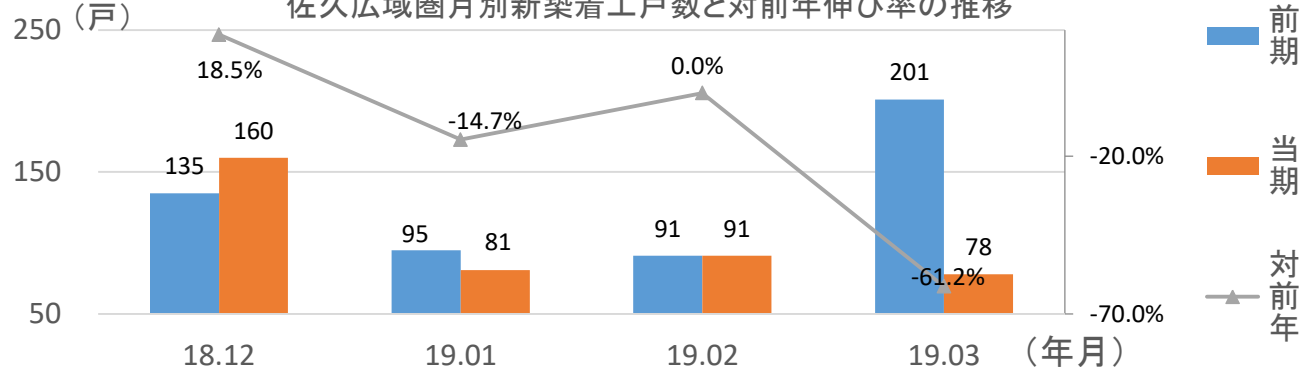
(資料)北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数の推移」

5. 建設投資

年間の新設住宅着工戸数でも前年度対比11%のマイナス

月別着工戸数

佐久広域圏月別新築着工戸数と対前年伸び率の推移

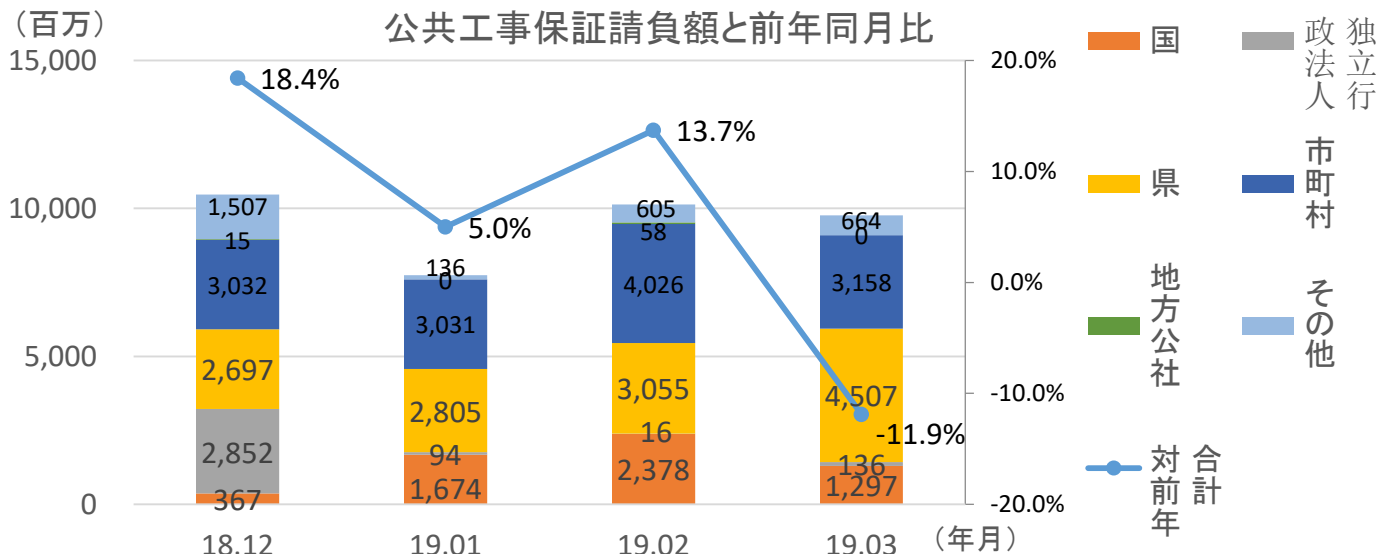


(資料)長野経済研究所「主要経済指標」

公共工事保証請負額は、3カ月ぶりに前年比減

公共工事保証請負額

公共工事保証請負額と前年同月比

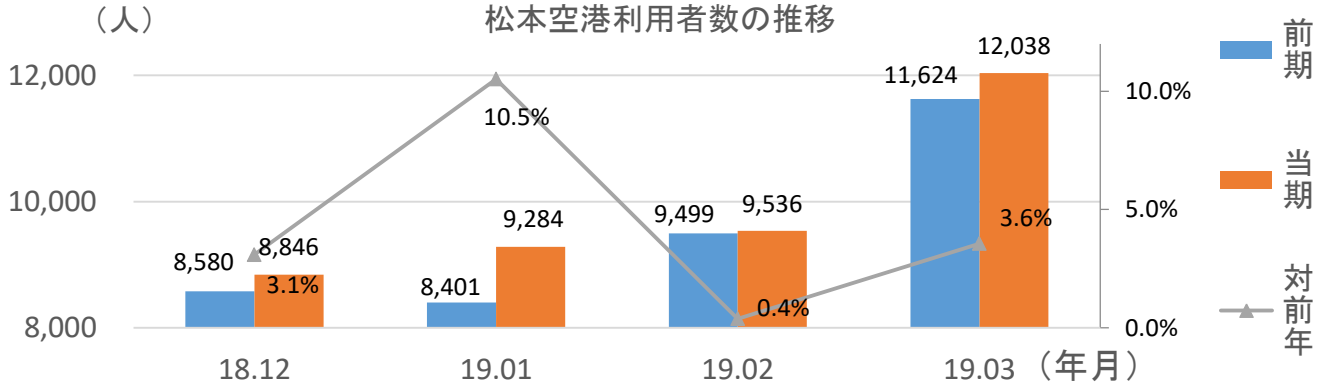


(資料)東日本建設業保証株式会社「工事場所別・発注者別保証実績表」

6. 県内交通

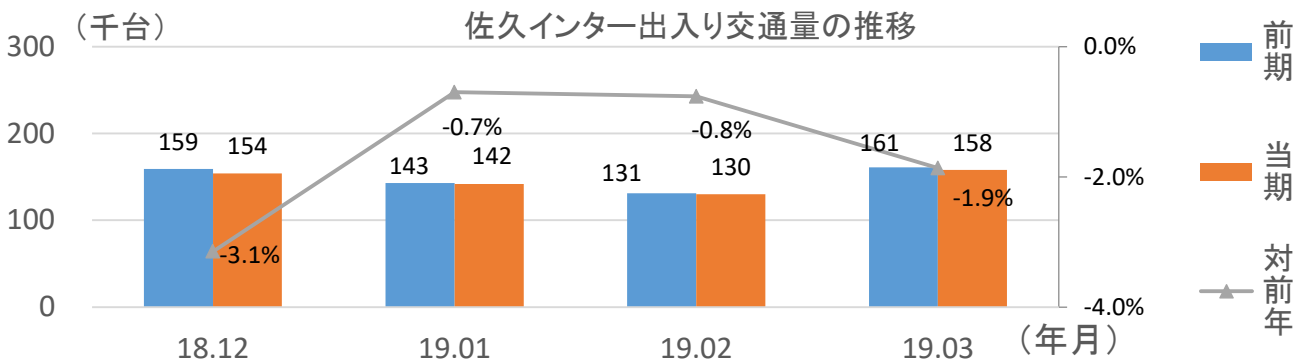
松本空港利用者数は、6カ月連続前年を上回る

松本空港利用者数



佐久インター出入り交通量、5カ月連続前年比減

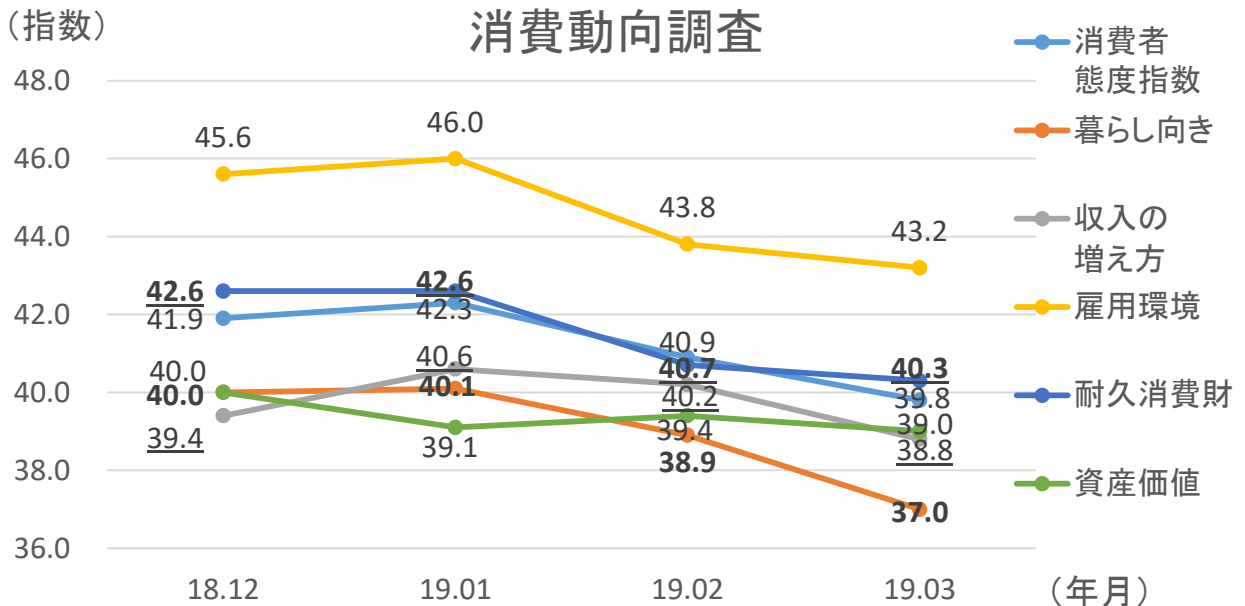
佐久インター出入り交通量



(資料)長野経済研究所「主要経済指標」

7. 内閣府の消費動向調査

※消費態度指数: 指数50が判断の分かれ目で、50を超えれば消費意欲が旺盛で、下回れば意欲が減退していることを表します。



(資料)内閣府「消費動向調査」

参考資料

- ・全国商工会連合会
 - 「中小企業景況調査報告書」
 - 「小規模企業景気動向調査」
- ・ハローワーク佐久
 - 「業務月報」
- ・長野経済研究所
 - 「長野県内大型小売店売上高の動向」
 - 「主要経済指標」
- ・北陸信越運輸局長野運輸支局
 - 「長野県における新車新規登録台数の推移」
- ・東日本建設業保証株式会社
 - 「工事場所別・発注者別保証実績表」
- ・内閣府
 - 「消費動向調査」
- ・経済産業省
 - 「鋳工業指数」
- ・長野県企画振興部情報政策課統計室
 - 「長野県鋳工業指数」
- ・日本経済新聞